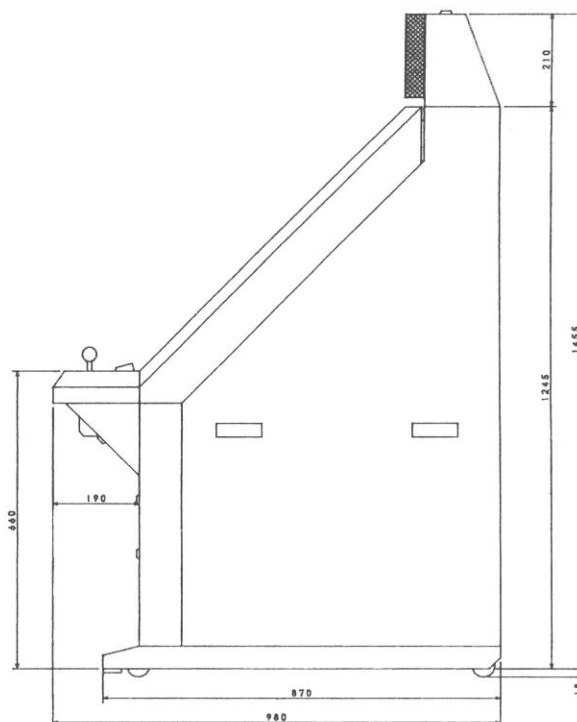
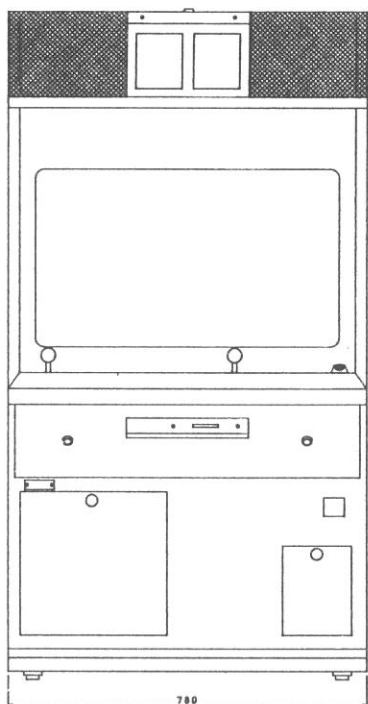
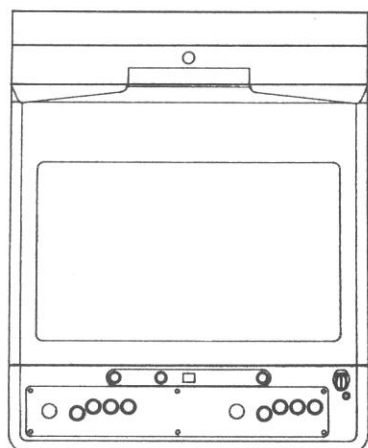


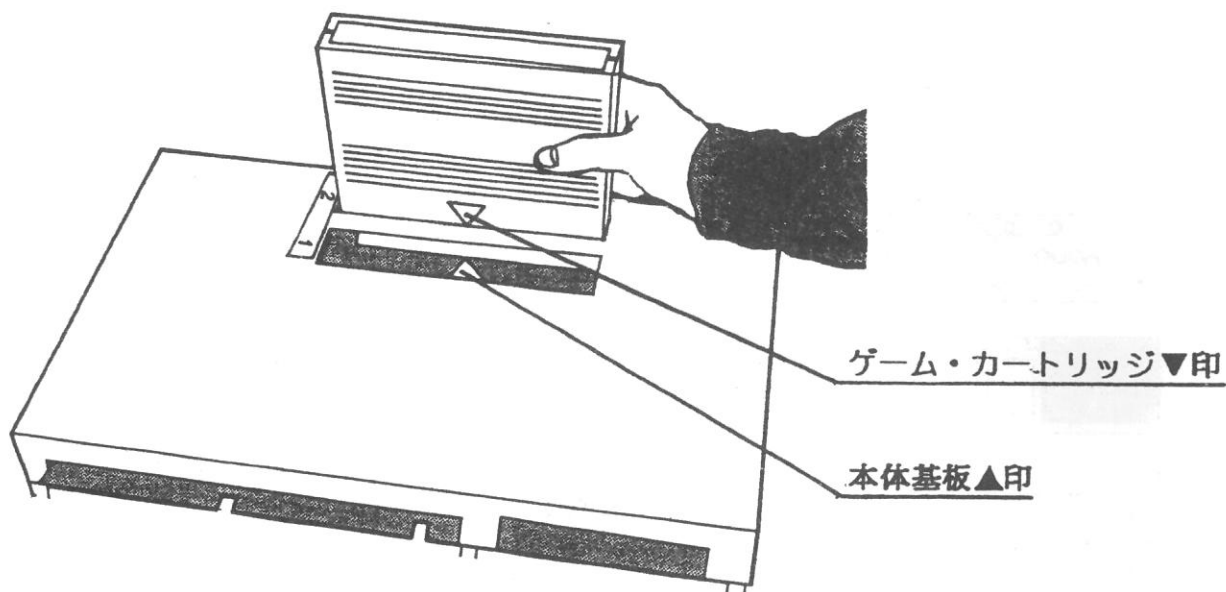
JM



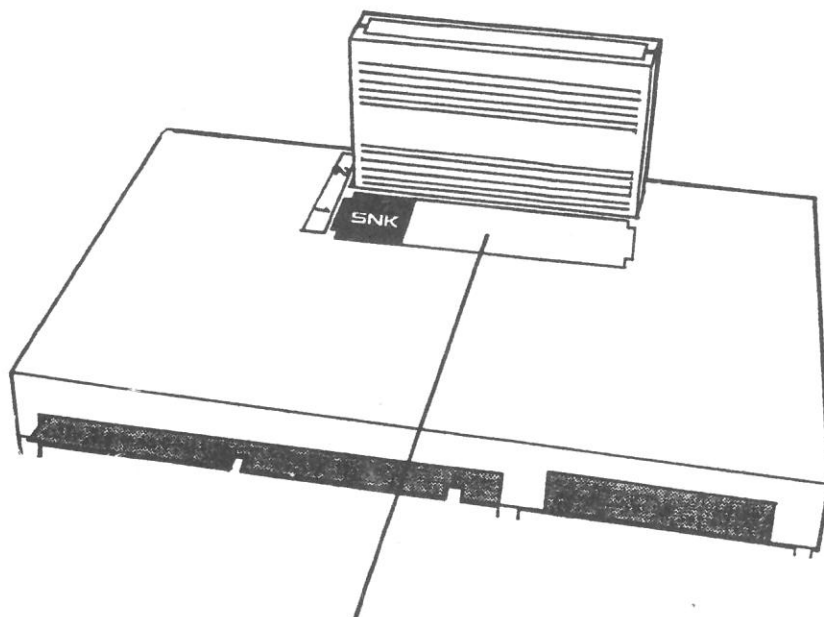
- (1) 使用電源：AC100V $\pm$ 10V (50/60Hz)
- (2) 消費電力：120W
- (3) 寸法(mm)：幅780 $\times$ 奥行980 $\times$ 高さ1473 (キャスター含む)
- (4) 重量：146kg
- (5) 使用基板：NEO-MVH, MV20
- (6) ブラウン管：33" CRTカラーモニター
TC-A33IS (東映通信工業)
- (7) ヒューズ定格：3A
- (8) 付属品：共通鍵・・・・・・・・・・・・・・ 5
金庫鍵・・・・・・・・・・・・・・ 2
モニター調整用ドライバー・・・・・・・・ 1
取扱説明書・・・・・・・・・・・・・・ 1

ONEO・GEOマルチ・ビデオシステム使用上の注意

- ① ゲーム・カートリッジの▼印と本体基板上の▲印が向き合うように装着して下さい。逆に設置しますと故障の原因になります。



- ② カートリッジのセッティングは筐体の電源をOFFにしてから確実に行なって下さい。もし、カートリッジが確実にセットされていないか、電源ONの状態ですと正常に動作しません。
- ③ 使用していないスロットのコネクター部はほこり等が入らないよう付属の保護カバーやテープ等で保護して下さい。



使用しないスロットのコネクター部は、
保護カバーやテープ等で保護して下さい。

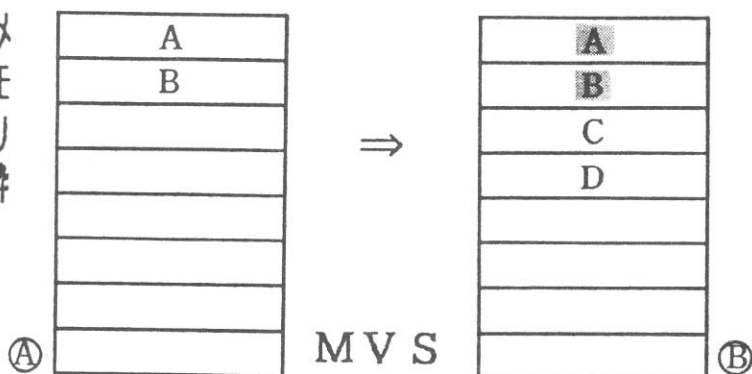
④スロット内に導電性のある物等が入らないようにして下さい。

⑤ 各スロットは240ピンコネクタでJAMMAコネクタ56ピンではありません。絶対にNEO・GEOマルチ・ビデオ・システム用カートリッジ以外は差し込まないで下さい。またNEO・GEOレンタル用カートリッジも使用できません。必ずNEO・GEOマルチ・ビデオ・システム用カートリッジを御使用下さい。

※⑥ MVSはインカム集計データーを電源がOFFの状態でも、またカートリッジを基板から外した状態でも最大8種類のゲームのインカム・データーを保存しています。

例えばA, BのゲームをMVSで稼働させていたとして、ゲームA, Bを新規のC, Dというゲームに置き換えると、

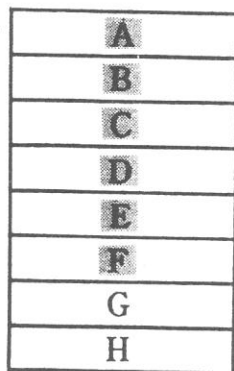
メモ
リ
#



↑A, Bのカートリッジを外していてもインカムデータは前のままです。もし、C, DのゲームとA, Bを入れ替え再び稼働させてもA, Bのインカムデータは継続して使用されます。

となり、A, Bのデータは消えていません。

図の状態ですらに新規I, JのゲームをG, Hの代わりに使用すると8種類のインカムデータしか保存できないため、G, Hはそのまま最古のデーターは消去してしまいます。



○基板構成

① MVS-U2/33は全部で大小3枚の基板で構成されています。

MV20

プログラムやキャラクター表示等の
主要な処理を行ないます。

MV-LED

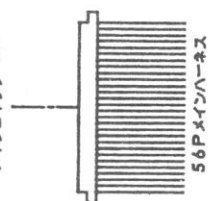
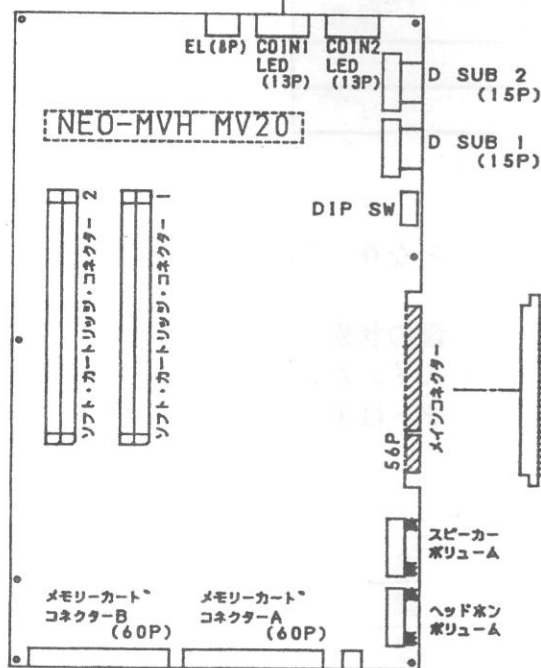
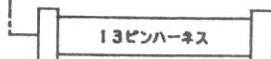
クレジット表示用です。

MV-IC

メモリーカードからのデータの読み書き
と2個のヘッドホン出力端子を装備。

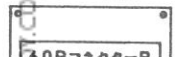
② MV4とSLOT4は、お互いに直接結合出来るようになっておりハーネスは不
用ですが、他の基板とのハーネス接続は下図の様になっています。

クレジット表示PCB
(7セグ)



メモリーカード &
ヘッドホンPCB

MV-IC



60Pコネクタ-B

60Pコネクタ-A



60Pシールド線



60Pシールド線



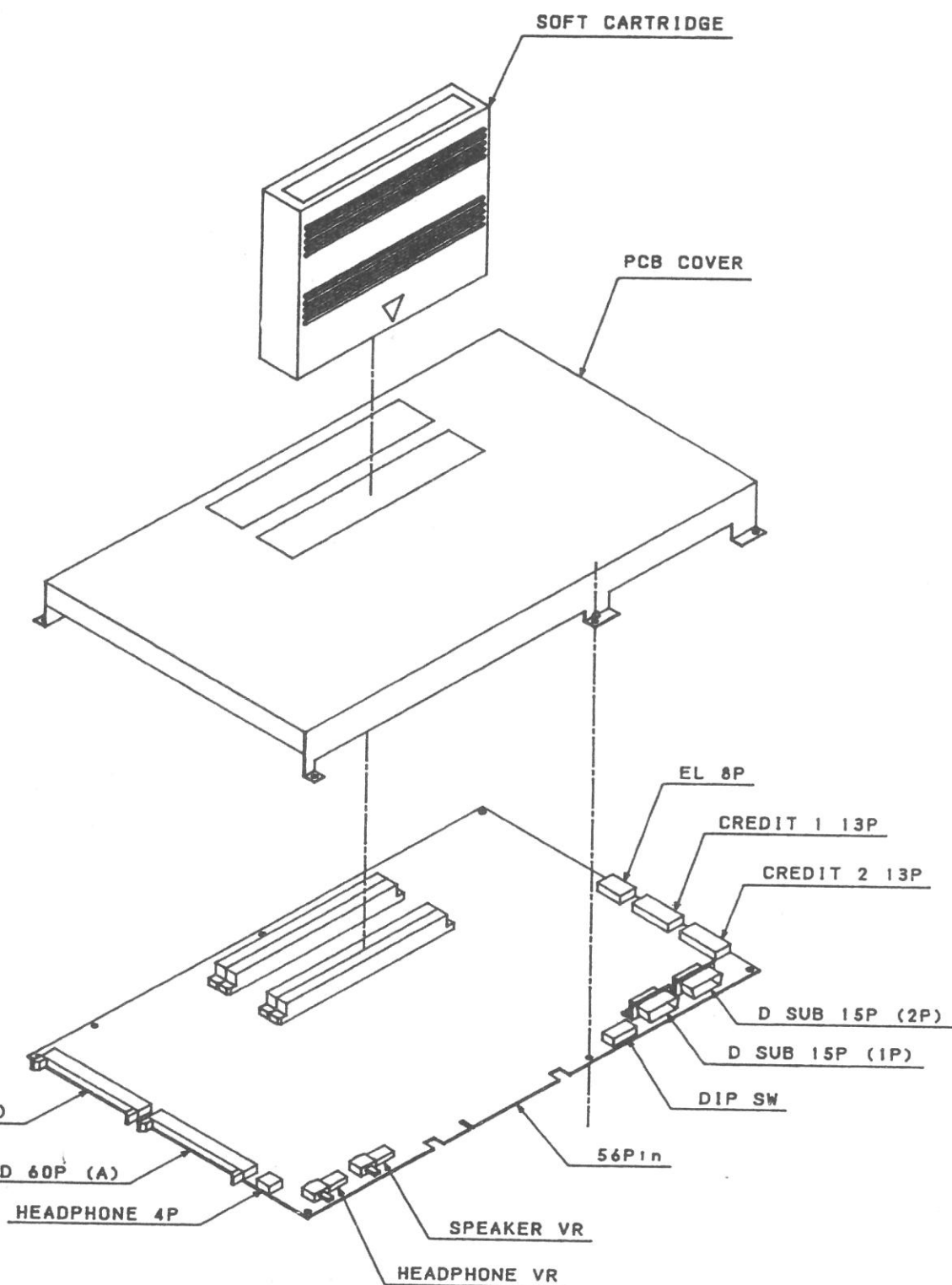
4Pハーネス



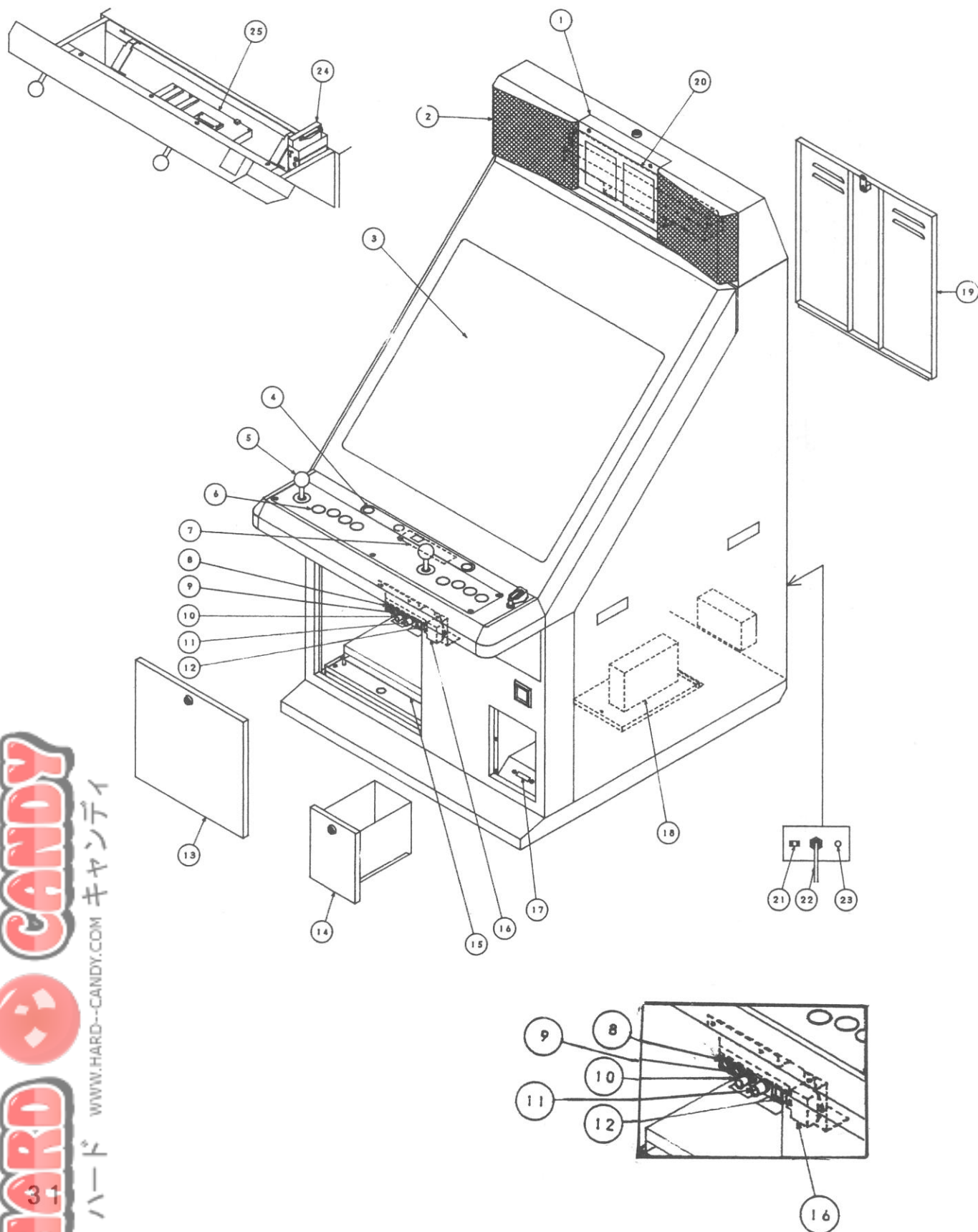
4Pハーネス



4Pハーネス



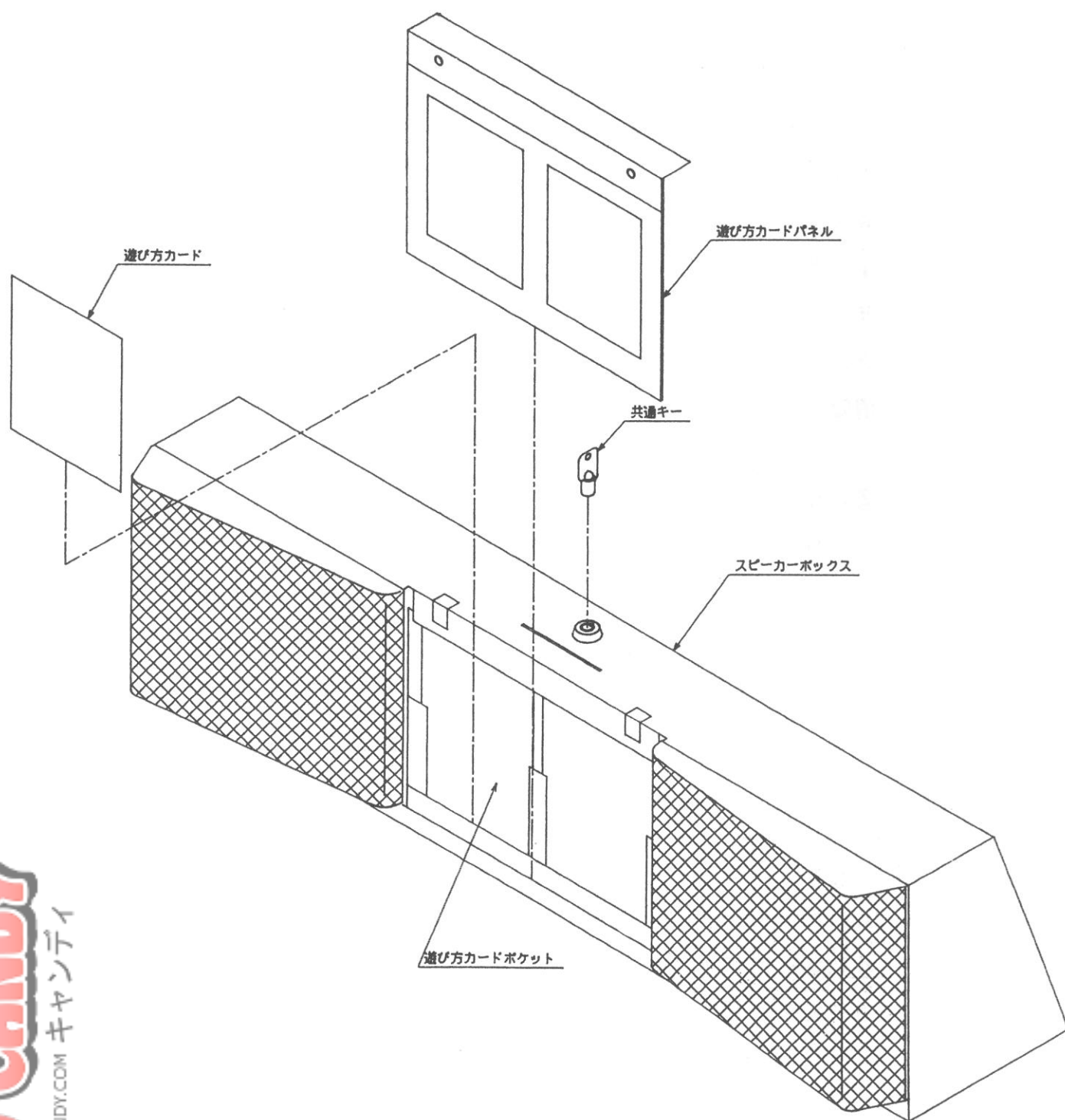
○各部構成図



○構成パーツ

No.	名 称	型 番
1	遊び方カードパネル	FCGD-X02
2	スピーカー	F3E5C04-1(4Ω)
3	33" CRTモニター	TC-A33IS
4	φ24押しボタンSW	PS-14-DN
5	ジョイスティック	LS-32
6	φ30押しボタンSW	XW6Z-0011
7	7セグ表示PCB	MV-LED
8	サービスSW	DS-412 2P
9	テストSW	DS-412 2P
10	消磁SW	SS1SMMR
11	ヒューズホルダー	F4000 (ヒューズ3A)
12	電源SW	HLS112A
13	フロントドア	FCGD-400
14	キャッシュボックス	FCGD-2800
15	メインPCB	NEO-MVH MV20
16	ノイズフィルター	ZGB2203-01
17	コインカウンター	KE611R10DC12
18	スイッチングレギュレーター	SNK50-525
19	リアドア	FCGD-500
20	蛍光灯	15W
21	ACアウトレット	MC-037
22	ACコード	FCGD-WH03-01
23	アースターミナル	T-381 (12mm)
24	コインセレクター	AD81P (旭精工)
25	ICカード&ヘッドホンPCB	MV-IC

○ゲームタイトルカード（遊び方カード）の交換方法

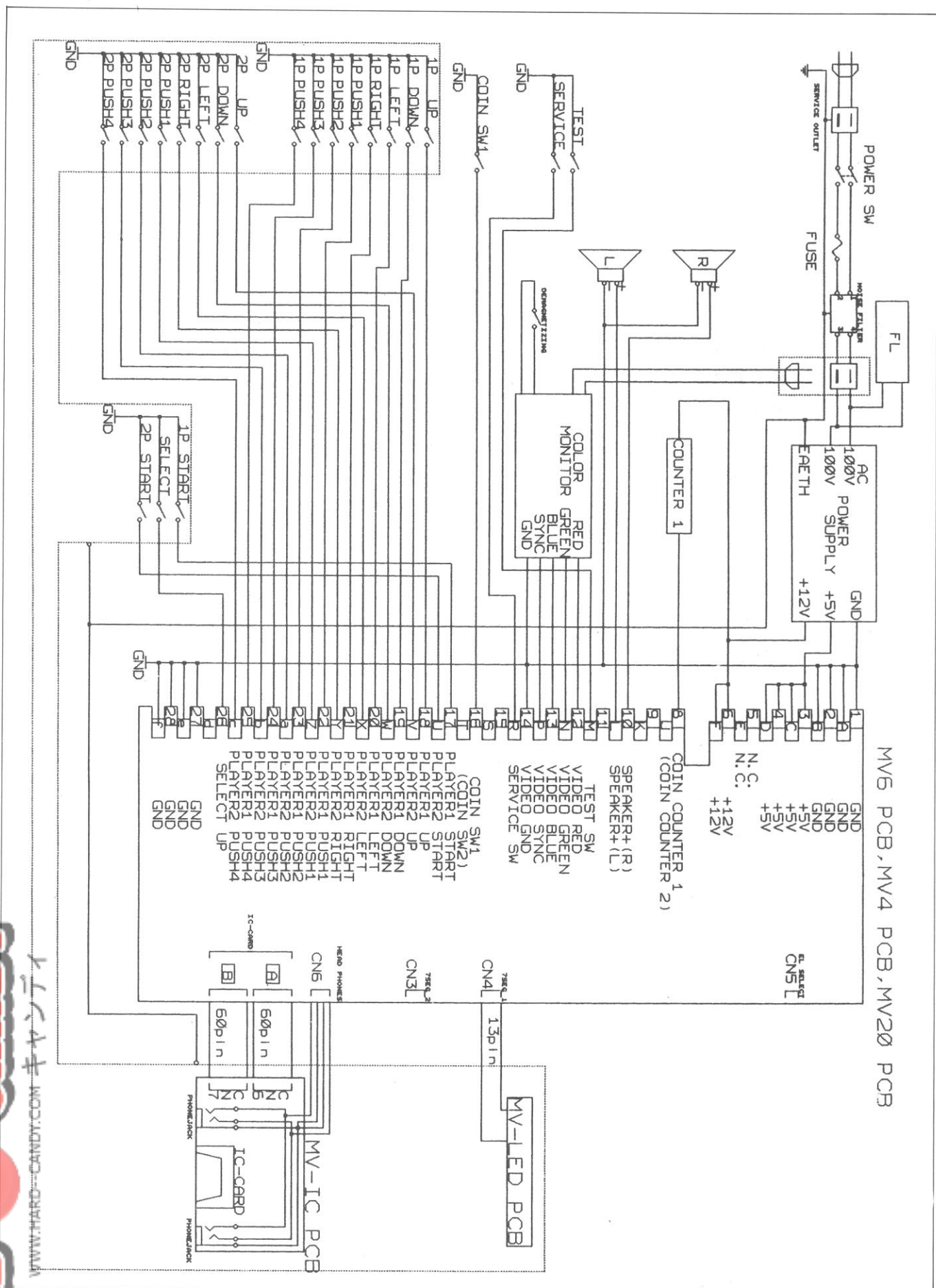


- ①スピーカーボックス上面の鍵を共通キーで開け、遊び方カードパネルを上スライドさせて外します。
- ②遊び方カードポケットに遊び方カードを差し込みます。

ONEO・GEO MV4/MV20 メインハーネス表

半田面	端子番号		部品面
GND	A	1	GND
GND	B	2	GND
+5V	C	3	+5V
+5V	D	4	+5V
	E	5	
+12V	F	6	+12V
誤挿入防止キー	H	7	誤挿入防止キー
COIN COUNTER 2	J	8	COIN COUNTER 1
COIN LOCK OUT 2	K	9	COIN LOCK OUT 1
SPEAKER+ (L)	L	10	SPEAKER+ (R)
TEST SWITCH	M	11	AUDIO + (mono)
VIDEO GREEN	N	12	VIDEO RED
VIDEO SYNC	P	13	VIDEO BLUE
SERVICE SW	R	14	VIDEO GND
COIN SW 4 (PLAYER2)	S	15	COIN SW 3 (PLAYER1)
COIN SW 2 (PLAYER2)	T	16	COIN SW 1 (PLAYER1)
START 2	U	17	START 1
PLAYER2 UP	V	18	PLAYER1 UP
PLAYER2 DOWN	W	19	PLAYER1 DOWN
PLAYER2 LEFT	X	20	PLAYER1 LEFT
PLAYER2 RIGHT	Y	21	PLAYER1 RIGHT
PLAYER2 PUSH1	Z	22	PLAYER1 PUSH1
PLAYER2 PUSH2	a	23	PLAYER1 PUSH2
PLAYER2 PUSH3	b	24	PLAYER1 PUSH3
PLAYER2 PUSH4	c	25	PLAYER1 PUSH4
SELECT DOWN	d	26	SELECT UP
GND	e	27	GND
GND	f	28	GND

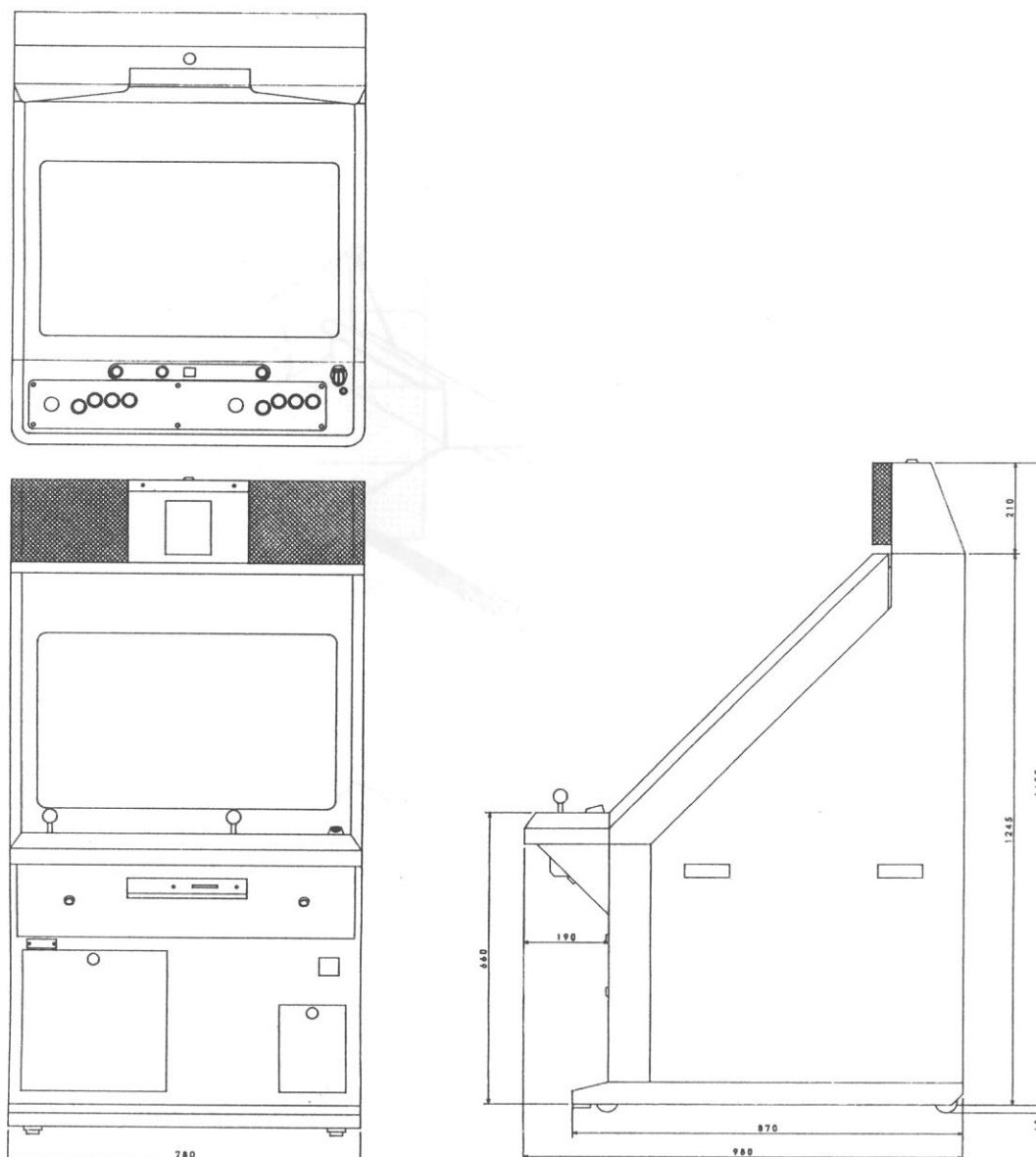
OMVS-U2 33" ワイヤリングダイアグラム図



MV6 PCB, MV4 PCB, MV20 PCB

MVS-U1/33"

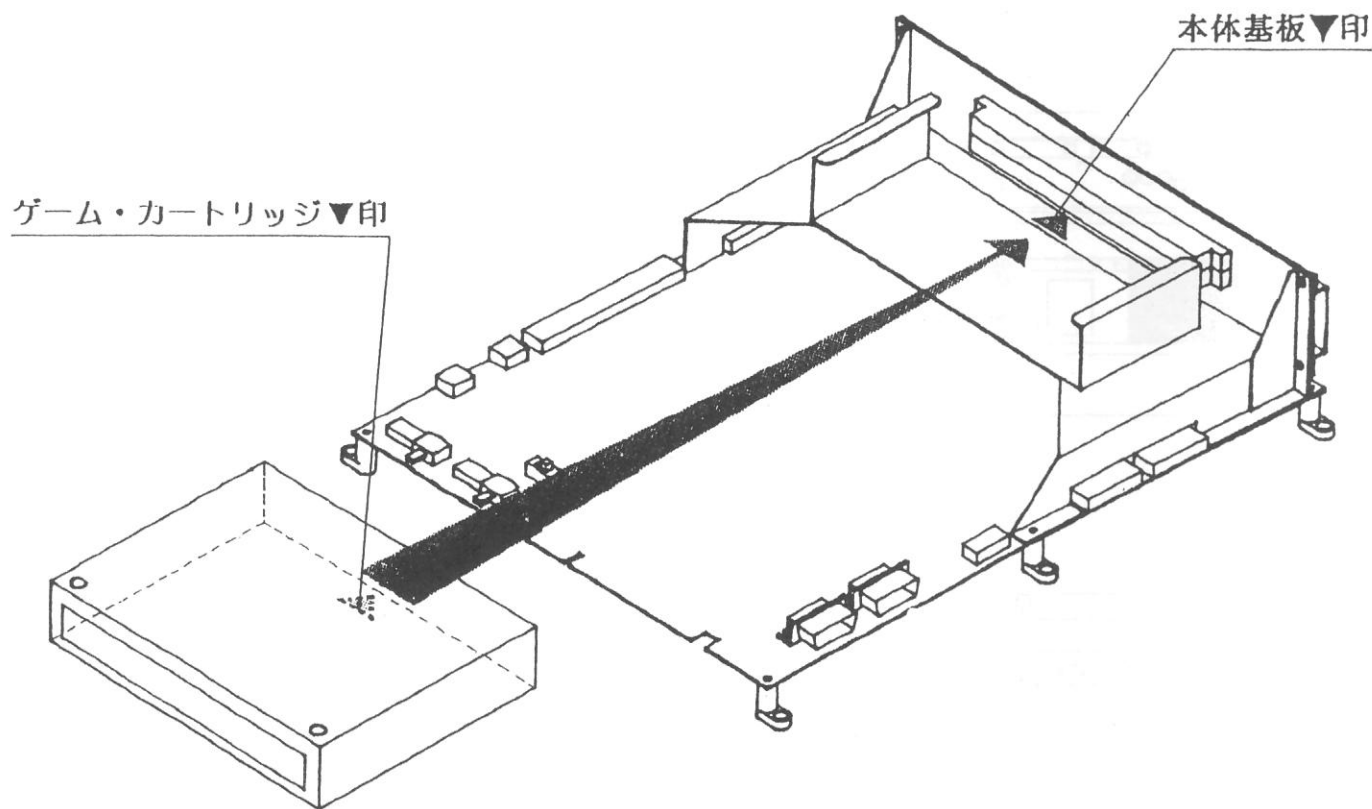
VN



- (1) 使用電源 : AC100V $\pm$ 10V (50/60Hz)
- (2) 消費電力 : 120W
- (3) 寸法(mm) : 幅780 $\times$ 奥行980 $\times$ 高さ1473 (キャスター含む)
- (4) 重 量 : 146 kg
- (5) 使用基板 : NEO-MVH, MV1
- (6) ブラウン管 : 33" CRTカラーモニター
TC-A33IS (東映通信工業)
- (7) ヒューズ定格 : 3A
- (8) 付 属 品 : 共通鍵 5
金庫鍵 2
モニター調整用ドライバー 1
取扱説明書 1

ONEO・GEOマルチ・ビデオシステム使用上の注意

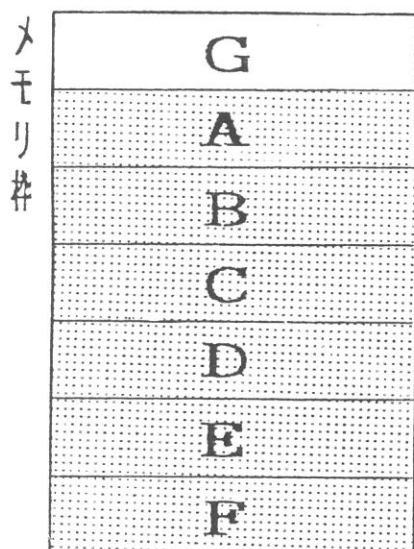
- ① ゲーム・カートリッジの▼印と鉄板上の▼印の面が接するように装着して下さい。逆には装着できません。



カセットの▼印は下側（基板面）に向きます。

- ② カートリッジのセッティングは筐体の電源をOFFにしてから確実に行なって下さい。もし、カートリッジが確実にセットされていないか、電源ONの状態ですと正常に作動しません。
- ③ スロット内に導電性のある物等が入らないようにして下さい。
- ④ 各スロットは240ピンコネクターでJAMMAコネクター56ピンではありません。絶対にNEO・GEOマルチ・ビデオ・システム用カートリッジ以外は差し込まないで下さい。またNEO・GEOレンタル用カートリッジも使用できません。必ずNEO・GEOマルチ・ビデオ・システム用カートリッジを御使用下さい。
- ※⑤ MVS (MV1) はインカム集計データーを電源がOFFの状態でも、またカートリッジを基板から外した状態でも最大7種類のゲームのインカム・データーを保存しています。

例えば、過去にA, B, C, D, E, FのゲームをMVSで稼働させていたとして、新規ゲームGを現在使用している場合、



図A, B, C, D, E, Fのカートリッジを外していても インカムデーターは前のままです。

となり、A, B, C, D, E, Fのデーターは消えていません。

○サウンド出力に関して

●モノラル出力で使用する場合

- ・出力は、56ピンエッジコネクタから取ります。
- ・MONO/STEREO切り替えSWをMONO側に切り替えます。

●ステレオ出力で使用する場合

- ・出力は、P.C.B.上のSPEAKER出力コネクタ4ピン(CN2)から取ります。
- ・MONO/STEREO切り替えSWをSTEREO側に切り替えます。

注意) ステレオとモノラルのスピーカーを同時に接続しないで下さい。

注意) 本機MVS-U1はステレオ専用筐体ですので、モノラルでは使用しないで下さい。

※モノラル/ステレオ切り替えの注意

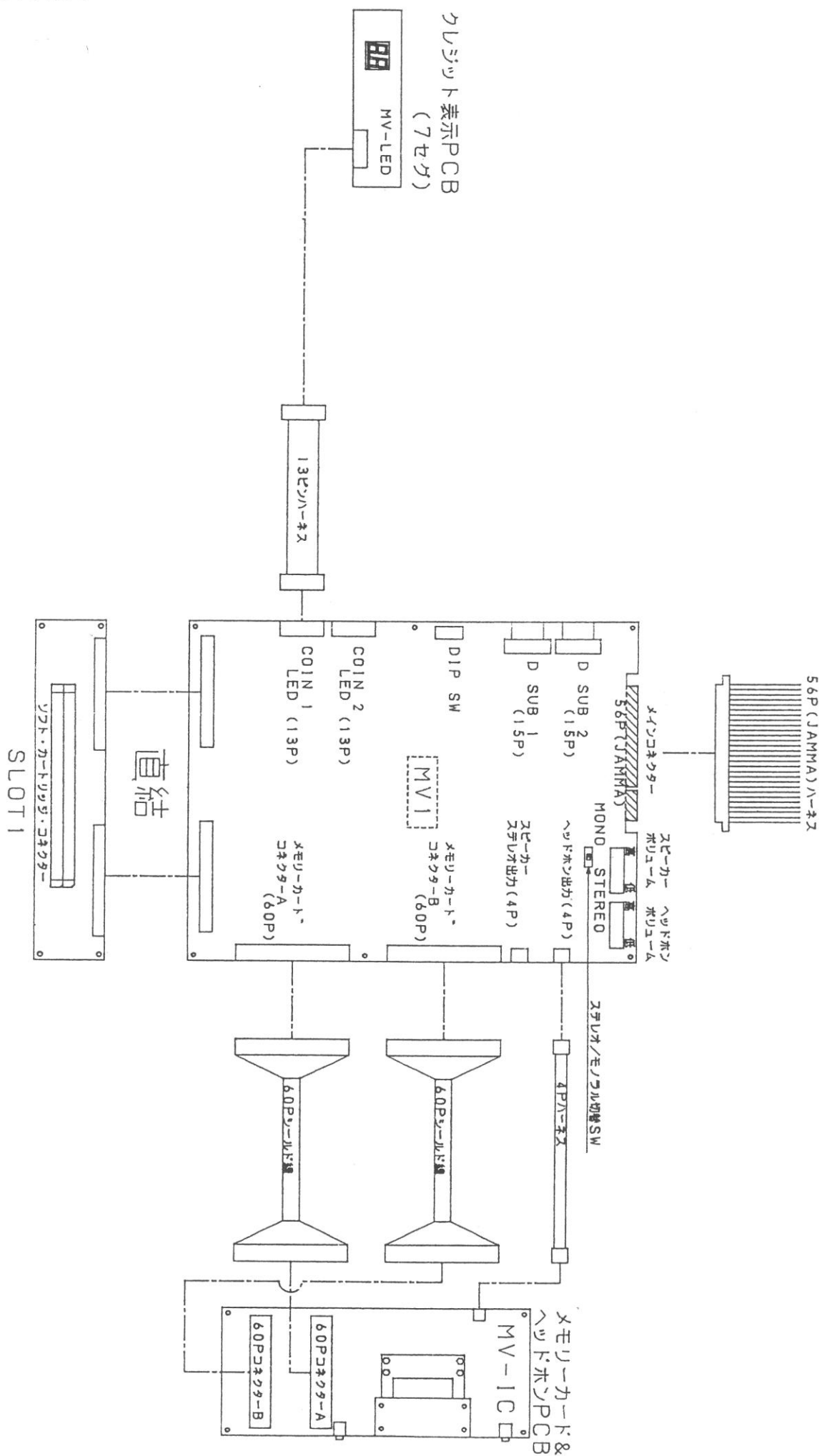
- JAMMA筐体使用の場合は必ずモノラル側にセットして下さい。

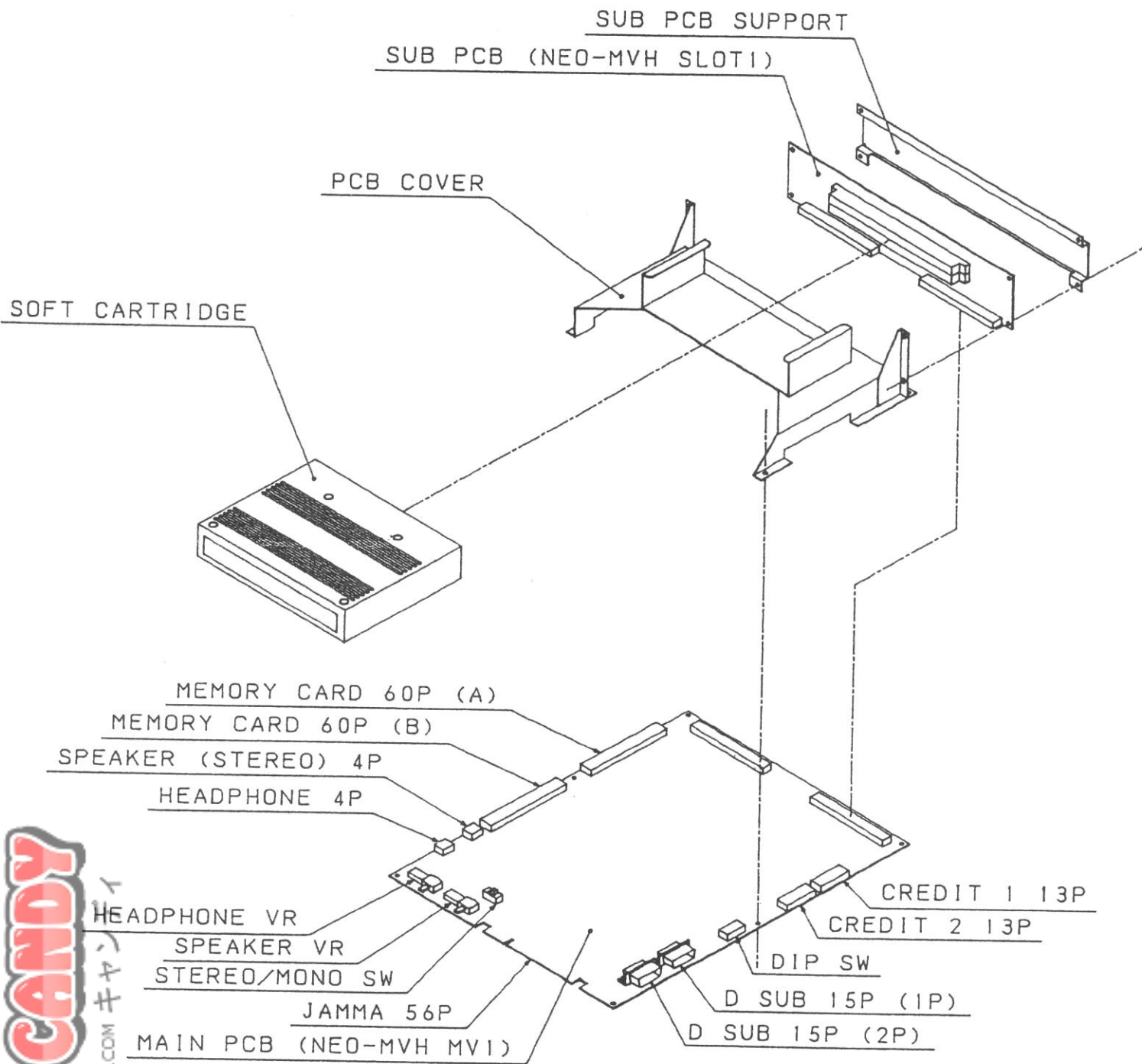
STEREO

MONO

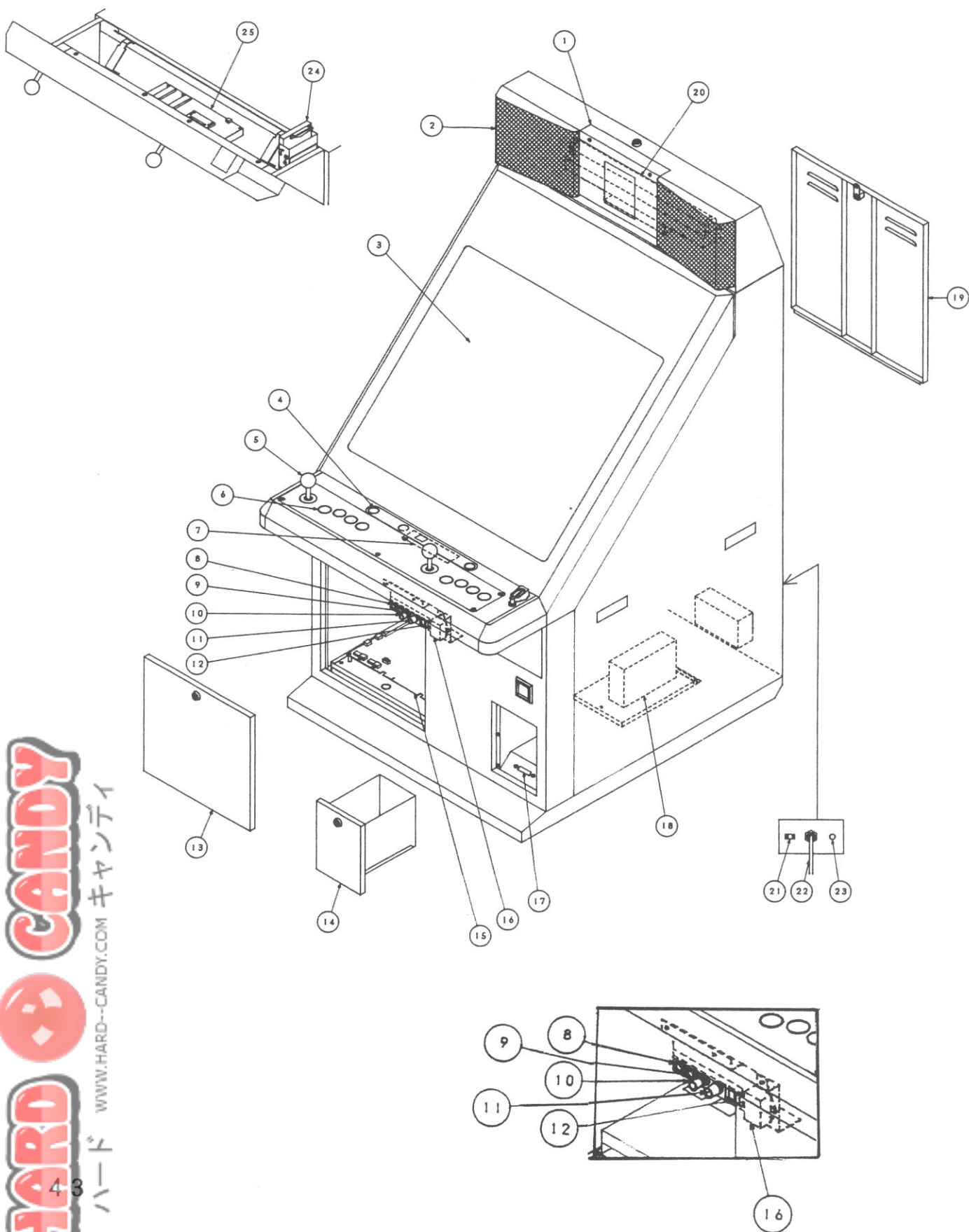
注意) 間違えてセットされると、基板を壊す恐れがあります。

○基板構成





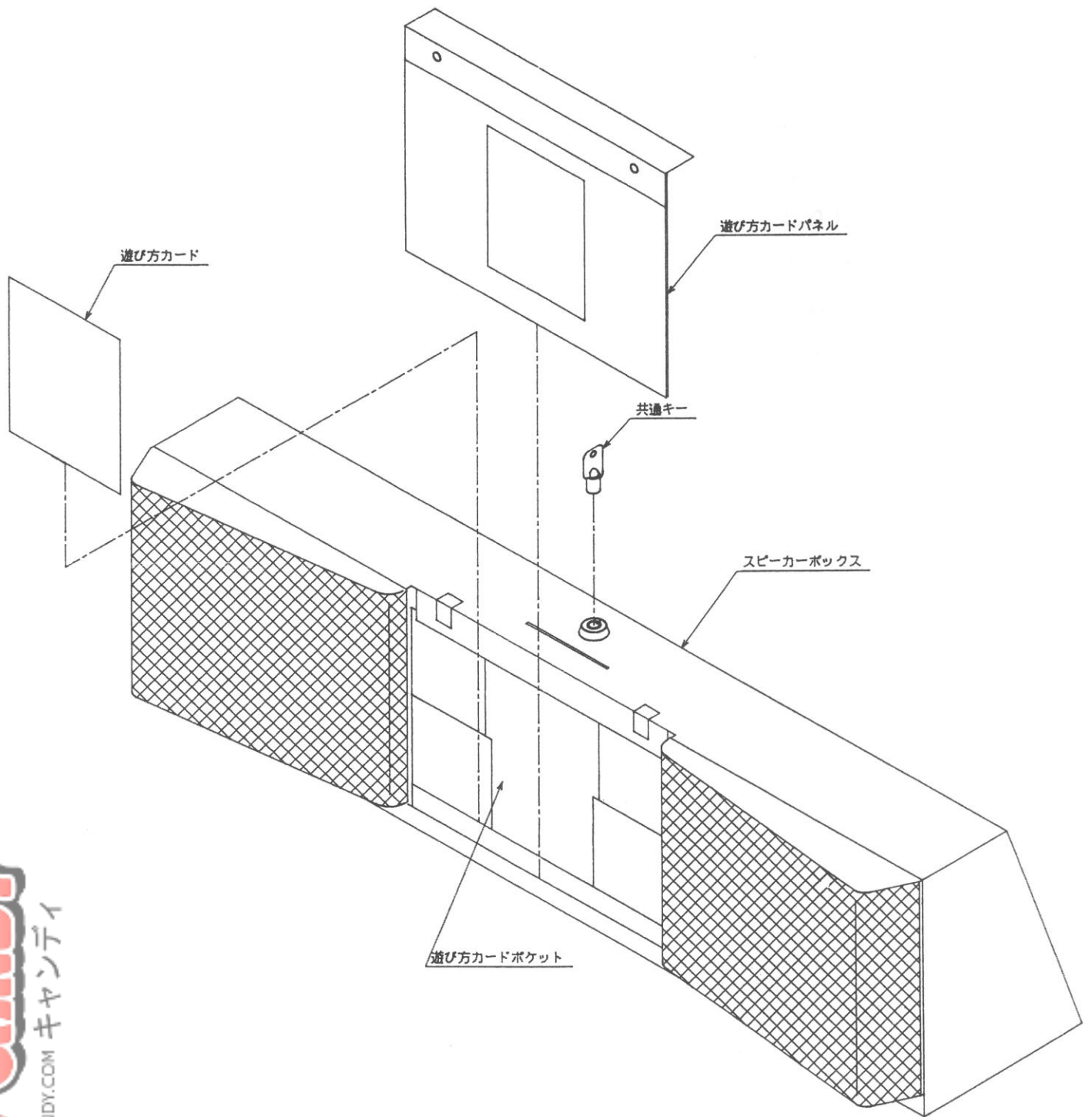
○各部構成図



○構成パーツ

No.	名 称	型 番
1	遊び方カードパネル	FCGZ-X01
2	スピーカー	F3E5C04-1(4Ω)
3	33" CRTモニター	TC-A33IS
4	φ24押しボタンSW	PS-14-DN
5	ジョイスティック	LS-32
6	φ30押しボタンSW	XW6Z-0011
7	7セグ表示PCB	MV-LED
8	サービスSW	DS-412 2P
9	テストSW	DS-412 2P
10	消磁SW	SS1SMMR
11	ヒューズホルダー	F4000 (ヒューズ3A)
12	電源SW	HLS112A
13	フロントドア	FCGD-400
14	キャッシュボックス	FCGD-2800
15	メインPCB	NEO-MVH MV1
16	ノイズフィルター	ZGB2203-01
17	コインカウンター	KE611R10DC12
18	スイッチングレギュレーター	SNK50-525
19	リアドア	FCGD-500
20	蛍光灯	15W
21	ACアウトレット	MC-037
22	ACコード	FCGD-WH03-01
23	アースターミナル	T-381 (12mm)
24	コインセレクター	AD81P (旭精工)
25	ICカード&ヘッドホンPCB	MV-IC

○ゲームタイトルカード（遊び方カード）の交換方法



- ①スピーカーボックス上面の鍵を共通キーで開け、遊び方カードパネルを上スライドさせて外します。
- ②遊び方カードポケットに遊び方カードを差し込みます。

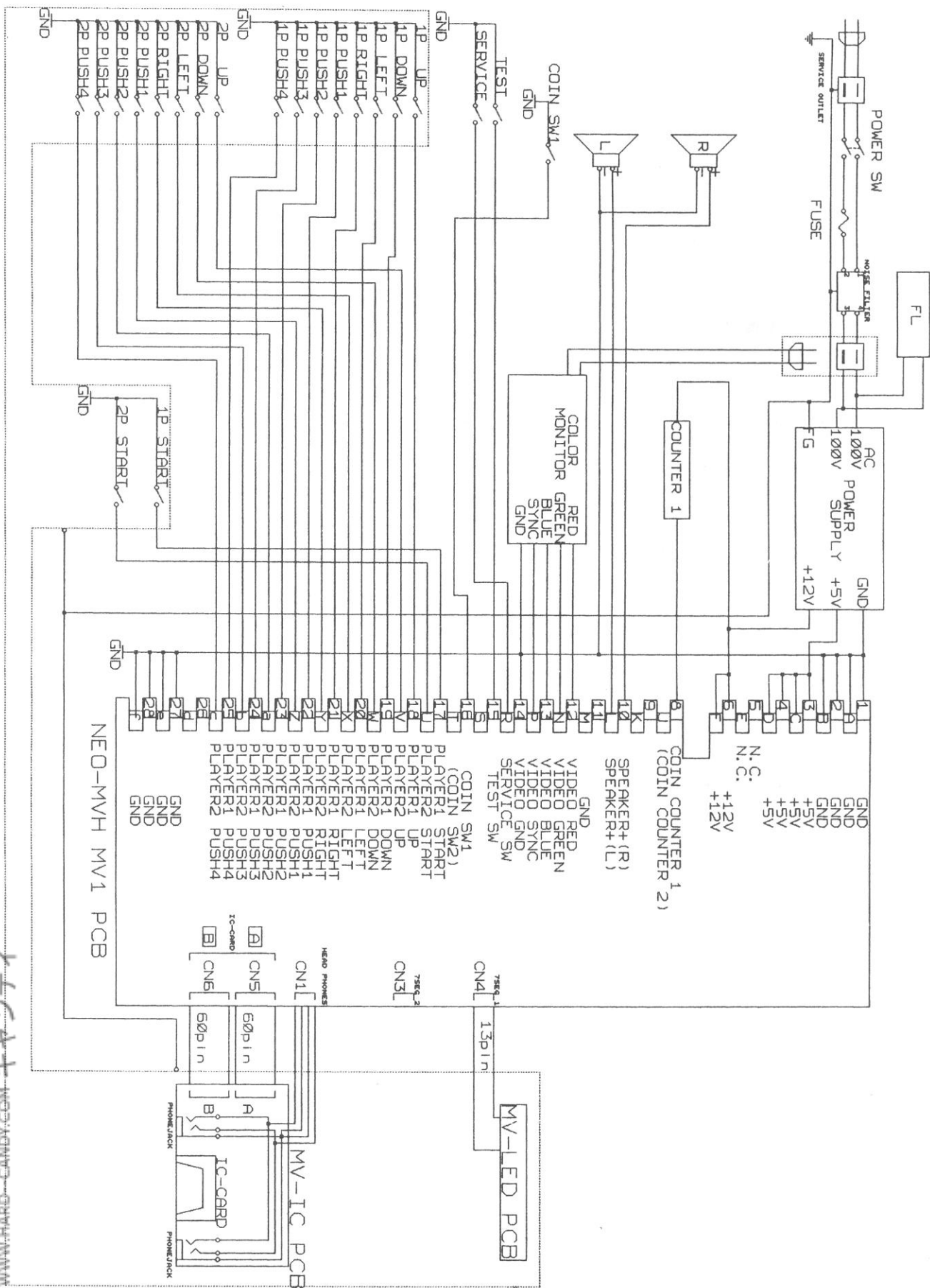
OMV 1メインハーネス表

半田面	端子番号		部品面
G N D	A	1	G N D
G N D	B	2	G N D
+ 5 V	C	3	+ 5 V
+ 5 V	D	4	+ 5 V
	E	5	
+ 12 V	F	6	+ 12 V
誤挿入防止キ-	H	7	誤挿入防止キ-
COIN COUNTER 2	J	8	COIN COUNTER 1
COIN LOCKOUT 2	K	9	COIN LOCKOUT 1
SPEAKER (L)	L	10	SPEAKER (R)
AUDIO (GND)	M	11	
VIDEO GREEN	N	12	VIDEO RED
VIDEO SYNC	P	13	VIDEO BLUE
SERVICE SW	R	14	VIDEO GND
	S	15	TEST SW
COIN SW 2	T	16	COIN SW 1
START SW 2	U	17	START SW 1
2 P UP	V	18	1 P UP
2 P DOWN	W	19	1 P DOWN
2 P LEFT	X	20	1 P LEFT
2 P RIGHT	Y	21	1 P RIGHT
2 P PUSH 1	Z	22	1 P PUSH 1
2 P PUSH 2	a	23	1 P PUSH 2
2 P PUSH 3	b	24	1 P PUSH 3
2 P PUSH 4	c	25	1 P PUSH 4
	d	26	DATA INPUT SW
G N D	e	27	G N D
G N D	f	28	G N D

注1) このハーネス表は、ステレオ設定時のものです。

注2) DATA INPUT SWは、通常は、使用しません。

OMVS-U1 33" ワイヤリングダイヤグラム図



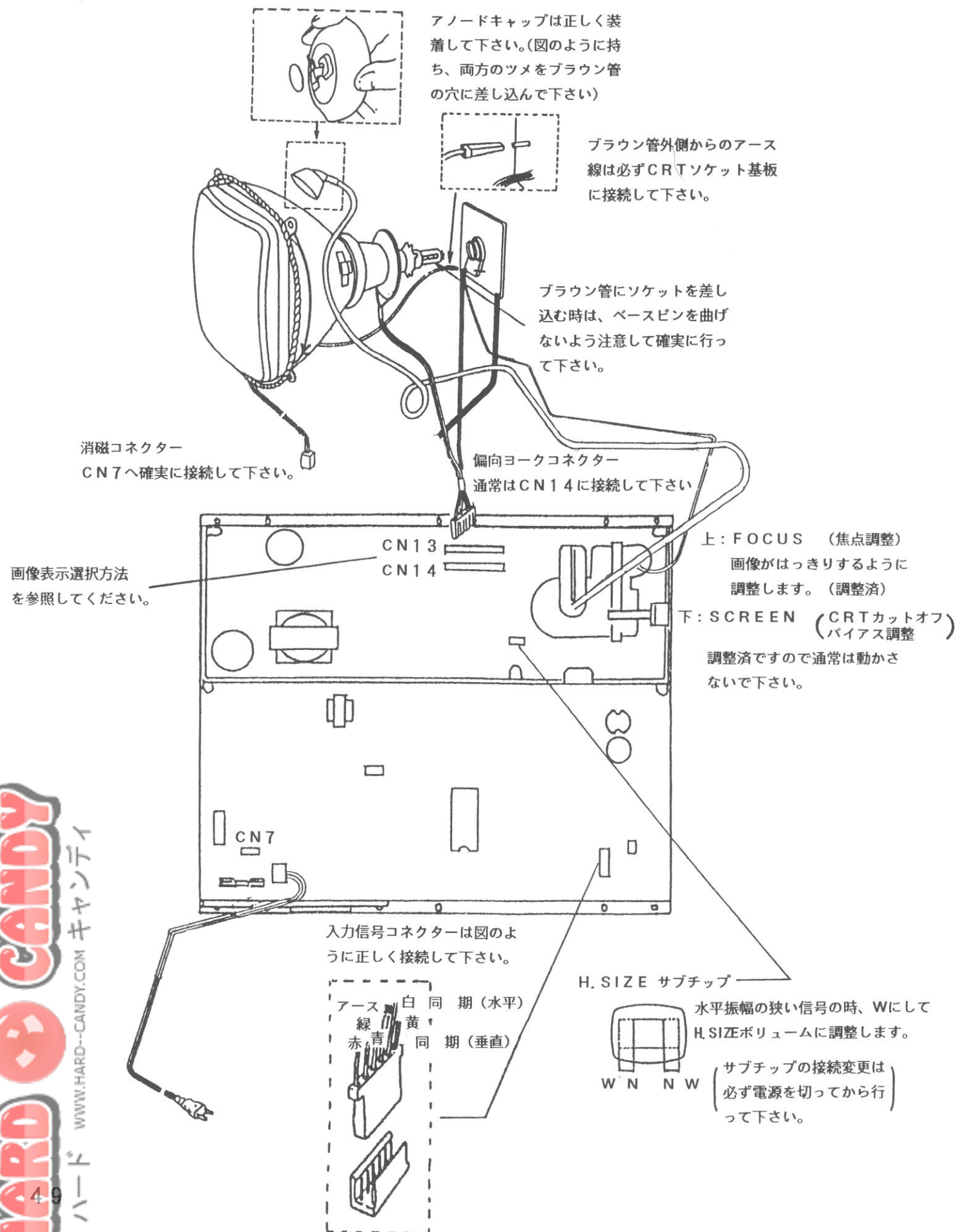
モニター基板の調整

(東映通信工業製 TC-A33IS)

(MVS-U4/33, U2/33, U1/33共通)

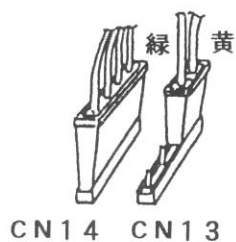
1. 各部の接続方法

注意 以下の各部は、電源を入れる前に正しく接続してください。



画像表示選択方法 (ミラー対応)

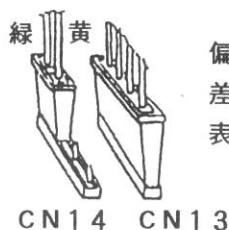
※ 必ずモニターの電源を切った状態で行ってください。



偏向ヨークのコネクターをCN14に差し込むと通常の画像が表示されます。



偏向ヨークのコネクターをCN14に差し込み、2ピンのコネクターを入れ替えますと画像方向が変わります。



偏向ヨークのコネクターをCN13に差し込むと反転の画像が表示されます。



偏向ヨークのコネクターをCN13に差し込み、2ピンのコネクターを入れ替えますと画像方向が変わります。



2. 基本調整

本機では垂直同期を自動化しておりますのでV. HOLD VRの調整はできません。

RGB入力ゲイン調整

調整済です。

入力信号のレベルがRGBで異なりCONT. ボリュームでコントラストの強弱が調整しきれない時に調整します。

右に回すと強くなり左に回すと弱くなります。

R. GAIN(赤)

B. GAIN(青)

G. GAIN(緑)

RGB BKGの調整

ホワイトバランスを調整します。

R. BKG(赤)

G. BKG(緑)

B. BKG(青)

BRIGHT. (輝度調整)

画像の明るさを調整します。

右に回すと明るくなります。

画面の輪郭を最良にする時、バックラスターをわずかに光る様にしてください。

CONT.

コントラストの強弱を調整します。

A P T

画像の輪郭を補正します。

H. SIZE (水平振幅調整)

水平の画面寸法を調整します。



H. POSITION (水平表示位置調整)

画像の水平の表示位置を調整します。



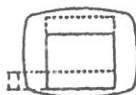
V. SIZE (垂直振幅調整)

垂直の画面寸法を調整します。



V. POSITION (垂直表示位置調整)

垂直のラスタ位置を調整します。



2. 基本調整

V. LIN. (垂直リニアリティー調整)

画面の上部・下部の伸び縮みのバランスを調整します。



H. FREQUENCY (水平周波数調整)

調整済です。

H. HOLDを調整しても画像が横縞になっているときには、

H. HOLDをセンター付近に設定して

H. FREQUENCYにて画像が一番安定する位置に調整してください。

再びH. HOLDを左右に回し画像が乱れない事も合わせて確認してください。



H. HOLD (水平同期調整)

画像が左右に流れる場合に調整します。

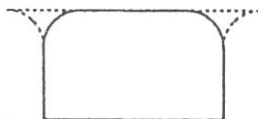


PIN. PHASE 2 (調整済)

上部曲りを補正します。

右に回すと外側に開きます。

左に回すと内側に入ります。



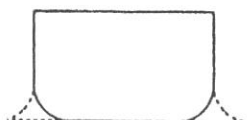
BOTTOM PIN. PHASE (調整済)

下部曲りを補正します。

右に回すと外側に開きます。

左に回すと内側に入ります。

(PCB内のVR13で調整して下さい。)

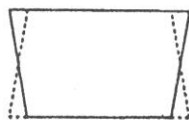


PIN. PHASE 1 (調整済)

台形歪を補正します。

右に回すと上部が左右に動きます。

左に回すと下部が左右に動きます。



PIN. GAIN (調整済)

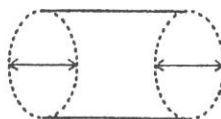
両サイドの糸巻歪を補正します。

右回りで外側にふくらみ、

左回りで内側に入ります。

工場出荷調整済みですが、

信号によっては微調整をして下さい。



S. REG (調整済)

画面の明るさが変化した際の水平、垂直、表示サイズ変動を制御します。

(右一杯から、左に回して水平サイズが縮小しはじめる位置に合わせます。)

ホワイトバランスの調整方法

信号を入力し、R. G. B. ゲインボリュームとR. G. B. BKGボリュームを左一杯にします。BRIGHTボリュームを2時ぐらいの位置にして、FBTのスクリーンボリュームでCRTが僅かに光る所に合わせます。

ミラー切り替えの2ピンコネクターを抜いて、画面を横一本線にします。

発光の強弱はFBTのスクリーンボリュームで微調整して下さい。

赤色の時……G. BKGを回し黄色にします。次にB. BKGを回し白色にします。

緑色の時……R. BKGを回し黄色にします。次にB. BKGを回し白色にします。

青色の時……R. BKGを回し紫色(マゼンダ)にします。

次にG. BKGを回し白色にします。

調整完了後は2ピンコネクターを元の所に差し込んで下さい。

急激にボリュームを回したり、上記の順番以外に2ピンコネクターを抜きますとCRTに焼き付けを生じさせますので御注意下さい。

信号選択の方法

①本機はLOW信号、HIGH信号を自動で切り替えます。(切り替えコネクターはありません)

②HIGH・LOWを切り替えた時、信号によっては下記の調整器を再調整して下さい。

V. POSI, V. SIZE, H. POSI, H. SIZE, PIN. GAIN, PIN. PHASE 1

上記調整器操作でスキャンサイズが合わない場合には、サイズチップCN10をWに
して下さい。(N――通常、W――広い)

チップ切り換えの際には、必ずモニターの電源を切った状態で行ってください。

使用上の御注意

高圧電圧部

本機内部には高電圧2.5万ボルト以上の高い電圧を使用している箇所(FBT)があります。

通電したままで内部に触れないでください。

触れる時には電源を一度切ってからにしてください。

CRTとPCBの接続について

アノードキャップの取り付けや、取り外しの時はCRTへの電荷放電を行ってください。

CRTは単体でも時間がたつとアノードに電荷がたまります。

修理を御依頼される前に

修理を御依頼される前に下記事項をご確認の上、再度御点検ください。

症 状	対 策 及 び 調 整
画像が出ない	ACコードが確実に差し込まれていますか。 正しい信号が入力されていますか。 CRTとソケットが確実に差し込まれていますか。
ラスタースは出ているが 画像が薄い	FBTのスクリーンボリュームを回して、帰線が 消えるまで調整してください。 CONT. ボリュームを回して、画像がハッキリ見える 位置まで回して、BRIGHTボリュームで微調整し、 バックラスタースが消える位置にしてください。 (R. G. B. GAIN ボリューム位置の確認)
バックラスタースが薄く 光っている	BRIGHTボリュームを回して、ちょうど消えるように 調整してください。
時間がたつと色ムラがでる	画像が明るすぎるためになります。 CONT. ボリュームを少し絞ってください。
画像の色ムラがとれない	モニターを移動した時に、地磁気の影響で色ムラに なることがあります。 本機は自動消磁ですので一旦電源を切り、約20分 してから電源を入れてください。 (DG SWITCHがある場合は、DG SWITCHをONにして ください。)
画像の色合いがおかしい	GAINボリュームとBKGボリュームにて ホワイトバランスを再調整してください。

○故障とお考えになる前に、御確認下さい。

- (1) 電源はAC90～110Vの範囲で使用できますが、下記のような場合、この範囲を越えて電源電圧が変動し、故障や誤動作の原因となります。

- ・同一電源ライン上に大容量の機器（エアコン、大型筐体、等）を接続した時。

・背面のサービス（修理用）コンセントに多数の筐体を接続した時。

- (2) 電源を入れても機械が作動しない時は、今一度コンセント、電源SW、ヒューズをお確かめ下さい。

- (3) メインPCB及び、ICカード&ヘッドホンPCBに異物が乗っていたり、ほこりがかかっていたりすると、故障や誤動作の原因となりますので、PCB上はいつもきれいにしておいて下さい。

- (4) ジョイスティック及び、ボタン類がきかない場合は、コネクタにゆるみはないか、ご確認下さい。

◎上記の項目にあてはまらない場合、あるいは対策による改善がみられない場合は、購入先もしくは裏表紙に記載の連絡先へ連絡して下さい。

◎各種基板の修理は、当社にて致しますので、テスターによる導通検査は行わないで下さい。テスターの内部電圧でICが破壊される事があります。

◎修理品を送付される場合は、故障内容を具体的に明示し、確実な梱包でお送り下さい。特に、基板やモニターはクッション材を使用し、段ボール箱などに入れ、外力が直接加わらないよう、梱包をお願いします。

MEMO

Lined area for writing notes, consisting of multiple horizontal dashed lines.

MEMO





CANDY
 キャンデー
 SNK

SNK 株式会社 エス・エヌ・ケイ
SNK CORPORATION

大阪本社 〒564 大阪府吹田市豊津町18-8
 東京支店 〒160 東京都新宿区新宿5-15-5(新宿三光町ビル8F)
 福岡支店 〒812 福岡県福岡市博多区豊2-4-19

TEL.06(338)7007 FAX.06(338)8986
 TEL.03(3351)8222 FAX.03(3351)8120
 TEL.092(413)6160 FAX.092(413)6154

札幌営業所 〒065 北海道札幌市東区北48条東15-2-36 TEL.011(731)6444 FAX.011(731)6446	新潟営業所 〒950-21 新潟県新潟市西小針台1-4-21 TEL.025(230)5421 FAX.025(230)5420	静岡営業所 〒422 静岡県静岡市宮竹2-17-16 TEL.054(237)9253 FAX.054(237)9316
函館営業所 〒041 北海道函館市昭和2-37-20 TEL.0138(42)9710 FAX.0138(42)9755	岩手県盛岡市青山3-26-21(千葉ビル2F) TEL.0196(47)3343 FAX.0196(47)3383	石川営業所 〒920 石川県金沢市北町135街区5番 TEL.0762(32)6371 FAX.0762(32)6373
八戸営業所 〒031 青森県八戸市船越2-4-14 TEL.0178(46)4017 FAX.0178(46)4019	宮城県仙台市宮城野区萩野町4-2-25 TEL.022(284)0951 FAX.022(284)0995	愛知営業所 〒465 愛知県名古屋市中区瑞穂町3001番地 TEL.052(703)5880 FAX.052(703)5869
秋田営業所 〒010 秋田県秋田市外旭川字三後田207 TEL.0188(68)6681 FAX.0188(68)6680	福島県郡山市富久山町八山田字三ツ担18-299 TEL.0249(38)3830 FAX.0249(38)3832	大阪営業所 〒564 大阪府吹田市豊津町41-14 TEL.06(730)1868 FAX.06(730)1878
新潟営業所 〒950-21 新潟県新潟市西小針台1-4-21 TEL.025(230)5421 FAX.025(230)5420	茨城県土浦市本木町3758 TEL.0298(21)9318 FAX.0298(21)4256	大阪府大阪市淀野北1-14-9 TEL.0720(78)5570 FAX.0720(78)7050
盛岡営業所 〒020-21 岩手県盛岡市青山3-26-21(千葉ビル2F) TEL.0196(47)3343 FAX.0196(47)3383	埼玉県北本市中丸5-13 TEL.0485(93)2180 FAX.0485(93)2183	大阪府堺市深井水池町3181 TEL.0722(70)7201 FAX.0722(70)7203
仙台営業所 〒983 宮城県仙台市宮城野区萩野町4-2-25 TEL.022(284)0951 FAX.022(284)0995	千葉県千葉市中央区千代町327-11 TEL.043(258)7989 FAX.043(250)9333	京都府京都市伏見区羽東路要川町247 TEL.075(935)1520 FAX.075(935)1522
郡山営業所 〒563 福島県郡山市富久山町八山田字三ツ担18-299 TEL.0249(38)3830 FAX.0249(38)3832	東京都小金井市中町4-17-13(ル・シエ・ソワビル1F) TEL.0423(87)7774 FAX.0423(87)7779	和歌山県和歌山市中島字町田551-4 TEL.0734(74)3585 FAX.0734(74)3625
土浦営業所 〒300 茨城県土浦市本木町3758 TEL.0298(21)9318 FAX.0298(21)4256	東京都足立区栗原1-20-11(ビューパレー西新井101号) TEL.03(3859)7220 FAX.03(3859)7221	兵庫県姫路市三条町1-72 TEL.0792(83)3801 FAX.0792(83)3803
埼玉営業所 〒354 埼玉県北本市中丸5-13 TEL.0485(93)2180 FAX.0485(93)2183	神奈川県横浜市中区山下町1173-1(ライオンズガーデン1F) TEL.045(861)2313 FAX.045(861)3009	岡山県倉敷市中央町48-2 TEL.0864(24)5222 FAX.0864(24)1780
千葉営業所 〒262 千葉県花見川区千代町327-11 TEL.043(258)7989 FAX.043(250)9333		広島県広島市安佐南区紙屋町東山本字出口349 TEL.082(871)5025 FAX.082(871)5303
盛岡営業所 〒274 千葉県船橋市習志野台4-48-16(サンク第一ビル1F・2F) TEL.0474(61)2381 FAX.0474(61)2383		大分県大分市鶴徳町3-1-16 TEL.0975(33)6277 FAX.0975(33)6278
東京営業所 〒184 東京都小金井市中町4-17-13(ル・シエ・ソワビル1F) TEL.0423(87)7774 FAX.0423(87)7779		熊本県熊本市錦ヶ丘13-10 TEL.096(368)1515 FAX.096(368)1517
西新井営業所 〒123 東京都足立区栗原1-20-11(ビューパレー西新井101号) TEL.03(3859)7220 FAX.03(3859)7221		鹿児島県姶良郡姶良町東耕田2346番地 TEL.0995(67)1030 FAX.0995(67)1032
横浜営業所 〒245 神奈川県横浜市中区山下町1173-1(ライオンズガーデン1F) TEL.045(861)2313 FAX.045(861)3009		